

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第5部門第1区分  
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2003-214121(P2003-214121A)

【公開日】平成15年7月30日(2003.7.30)

【出願番号】特願2002-11774(P2002-11774)

【国際特許分類第7版】

F 01 L 1/18

【F I】

F 01 L 1/18 H

F 01 L 1/18 M

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月22日(2004.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

即ち、この連結板部19の幅方向両端部に設けた1対の側壁部2b、2bを、前記ねじ孔9cの側方にまで延長しているので、上記連結板部19のうちでこのねじ孔9cを形成した部分の断面係数が大きくなり、上記アジャストねじ10から加わる大きなスラスト荷重やモーメント荷重に拘らず、上記連結板部19が変形するのを有効に防止できる。

更に、上記各側壁部2b、2bの端縁28、28が、上記連結板部19と反対側に位置して上記ロックナット26の当接面となる、前記補助板部20の表面27よりも突出する事がないので、上記各側壁部2b、2bが上記アジャストねじ10に螺合したロックナット26を緊締する際の妨げとなる事はない。即ち、このロックナット26の緊締時に、スパナやボックスレンチ等の工具の一部が、上記各側壁部2b、2bの一部と干渉して、上記ロックナット26の緊締作業が不能若しくは面倒になる事はない。